

新入生の皆さまへ

経済学部長 豊原 法彦

この度はご入学おめでとうございます。皆さんの努力もさることながら、周りの方々からの大きな支援の賜物ですので、心よりお喜び申し上げます。

今日は、大学での日々について、2つのアドバイスをいたします。

その1)高校までの学びが与えられたものを理解し、獲得する「学習」であったのに対し、大学では自分の学びたいことを発見し、それをどのようにすれば達成できるかを考える「学修」をすることになります。経済学の場合には基礎的な知識に加えて、海外の文献を読みこなしたりフィールドワークをするには英語の力も必要となり、現実の経済を考える際には統計的知識、モデル分析を行うには数学的素養が必須であり、情報発信するにはいわゆるICTのスキルも求められます。すぐに結果が出るものではありませんが、日々の積み重ねを大事にしてください。

その2)大学で様々なことに挑戦したいと考えている方も多いと思います。そのさいには、何がしたいのか、そのためにはどんな準備が必要なのかをしっかりと考えてください。よく、PDCA(Plan, Do, Check and Adjust(または Action)の下線部分をとったもの)といわれますが、計画を立て、とりあえず実行し、適当な段階で振り返って必要であれば調整の上で、さらなる計画立案を行うということをくり返しなが、より理想となる自分に近付けるよう挑戦してください。

関西学院大学ではチャペルという時間が用意されています。日々の勉強や研究のためだけに時間を使うのではなく、自らのあゆみについて心を穏やかに考える時間です。是非有効に活用して、充実した大学生活を過ごしてください。経済学部としてサポートしていきます。